寝屋川民報

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
FAX：824-7760
№３６０５

寝屋川市会議員
中林かずえ
宝町 4－33
090-3944-8385

寝屋川市会議員
松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924

寝屋川市会議員
西田まさみ
石津中町 30－3
090-9713-3588

前寝屋川市会議員
太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-9722

市政報告懇談会

とき：７月１３日（月）午後６時半～
場所：日本共産党寝屋川市委員会
（八坂町１５－３５）
６月議会の報告等を行った後、交流します。

NPT再検討会議に参加 本市在住の被爆者の

核兵器廃絶の取り組みに評価を

市として戦争や被爆の体験を継承するよう求める

６月市議会定例会で西田まさみ議員が一般質問

一般質問する西田議員

５年に1回のＮＰＴ・核不拡散条約再検討会議が４月27日から５月22日まで、国連本部で開催されました。

核保有国が核兵器に固執し、核軍縮をすすめる態度を示さない中、成果文書を発出できなかったことは、きわめて残念です。同時に、参加国の多くが核兵器の廃絶、核軍縮を主張したことは、大きな希望です。

今回、この会議に寝屋川市在住の３人の被爆者、いずれも女性ですが、参加されました。

３人はＮＰＴ再検討会議の傍聴、アメリカの高校生への報告・懇談会への参加、ニューヨークでの平和パレードは先頭で行進、さらに各国政府代表への申し入れ、平和団体との懇談などに精力的にとりくみました。

寝屋川市では、広島、長崎で被爆された方たちが組織をつくり、長年、被爆の実相を伝え、核兵器廃絶のとりくみを継続されています。

●質問

寝屋川市として、今回の被爆者のみなさんの取り組みを高く評価すべきではありませんか。

◆答弁

ＮＰＴ再検討会議への市民参加については、会議の傍聴、パレードや交流会等、核兵器廃絶の活動に取り組まれたことは、参加された市民の皆さんにとって有意義なものであったと認識している。

●再質問

私は、３人の方は、寝屋川の宝であると考えます。

この方たちの取り組みに対し市として、評価すべきと再度問います。

◆答弁

３人の方が参加されその取り組みを報告されたことは、貴重な経験と取り組みをされたものと認識している。

今後ともこれらの取り組みを含め、被爆体験の次世代への継承をより一層していくことが、重要であると認識している。

高齢者へのエアコン設置補助は

高齢者の命と健康を守る施策

近年の夏の気温は、過去最高と言われるような高温となり、今年の夏も厚くなることが予想されています。

昨年７月30日、枚方市の最高気温は39・2度となりました。そしてこの日、枚方寝屋川消防組合の熱中症による救急搬送は寝屋川市で10人と１日の救急搬送では最多となりました。

全国でも熱中症による救急搬送は毎年数万人を超え、死亡者数も毎年１０００人を超える状況となっており、これらを背景として、政府一体となった熱中症対策の推進を図るため、「熱中症対策実行計画」が２０２３年５月30日閣議決定されました。

厚生労働省、気象庁ともに、熱中症対策では、エアコンを利用して部屋の温度を下げることを推奨していますが、そもそもエアコンがない世帯、エアコンが故障していて修理ができないなど、エアコンのない低所得者世帯、とりわけ本市では、救急搬送の約６割を占める高齢者世帯へのエアコン設置補助が必要であると考えます。

大阪府泉佐野市では、65歳以上で現在、住居にエアコンを設置していない世帯に対し、上限８万円を助成しています。

●質問

寝屋川市でも高齢者世帯へのエアコン設置補助を求め、市の見解を問います。

◆答弁

エアコン設置補助制度については、現在、補助制度は設けていないが、市社会福祉協議会が実施する貸付制度の周知に努めるとともに、健康部と連携し地域包括支援センターや高齢者福祉センターを訪問された高齢者に対し、熱中症対策に関するチラシの配布や声掛けを行うなど、引き続き、注意喚起に努める。

市民の「移動の自由」を保障する公共交通の整備を

6月市議会定例会一般質問で西田議員が求める

２０２６年３月29日、寝屋川公園駅と寝屋川市駅をつなぐ運行経路が廃止、減便されました。その理由として、深刻な運転手不足としています。

このことにより、これまで自宅近くの梅が丘2丁目からバスに乗り、寝屋川公園駅、星田駅経由で、小松病院近くの観音橋まで利用されていた人が、この路線が廃止になり、バス1本で病院まで行けなくなりました。

そのため自宅から歩いて寝屋川公園駅に行き、電車で星田駅まで行き、星田駅からバスに乗って病院まで行かれているそうです。行きは遠回りして行き、帰りは、小松病院のバスで寝屋川市駅まで行き、バスに乗るそうですが、1本逃すと、1時間以上待たなければならず、買い物などして時間を過ごすとお金がかかる、やむなくタクシーを利用するとのことで、「時間もお金も労力もかかるようになった」と話されました。

また違う方は、梅が丘のバス停からバスに乗って仕事に行っておられたそうですが、バスが廃止になり足がなくなり、仕事を辞められたと聞きました。

一つのバスの運行廃止によって、病院や買い物に行くこと、仕事に行くことにまで大きな影響を及ぼしますその人にとってはかけがえのない交通手段、生活の足なのです。

現在、梅が丘地域の方が、「公共交通を守り、充実を求める要望書」の署名活動をされています。

梅が丘地域の交通不便の解消、移動手段の整備充実。タクシー利用時の補助、電車・橋の乗り継ぎの補助を求めておられます。

●質問

市域住民の声に応え、市民の「移動の自由」を保障するためにも、支援策を求め見解を聞きます。

◆答弁

今後、都市部におけるバス路線の廃止及び超高齢社会など、公共交通の在り方が変化していくことを想定した、市民の利便性の確保が必要であり、引き続き、あらゆる交通手段の導入に向けた検討を行っていきます。

環境に大きな影響及ぼすデータセンター

建設見直し求める立場の維持をもとめる

データセンター（以下ＤＣと言います）ＤＣの建設への反対運動が各地で起きています。政府がＤＣの増設と地方分散を強引に進めていることが背景にあります。

生成ＡＩの急速な普及に伴い、アメリカの巨大ＩＴ企業が日本でのＤＣ利用を急拡大しています。国内企業に加え、海外企業も日本でのＤＣ建設を進めています。

24時間３６５日休みなく稼働ＤＣは大量の電力を使い、発熱量も膨大なため、施設内に非常用発電機や変電設備、高性能冷却装置が設置されています。

懸念されるのは、大量の電力消費や非常用発電機と冷却装置による騒音、排ガス、熱風、低周波振動などによる健康や環境による影響です。

このように住民生活と環境に大きな影響のある、ＤＣ建設への規制が求められます。

寝屋川市では、寝屋２丁目、寝屋川公園区画整理事業において、ＤＣ建設が検討されています。寝屋川市は、「市民が憩える、にぎわえる、子育て世代が楽しめる場所を作りたい」として、建設の見直しを準備組合に申し入れていると議会でも答弁してきました。

●質問

「建設の見直しを準備組合に求めている」と議会で答弁した立場で取り組むことを改めて求めます。

◆答弁

寝屋二丁目・寝屋川公園地区のデータセンターについては、広大で緑豊かな寝屋川公園、隣接する大型商業施設や利便性の良いＪＲ星田駅などの経営資源による相乗効果の最大化を図るまちづくりの検討について申し入れを行っているところで、そのことが変わることはありません。

データセンターイメージ図

議員訪問

西田まさみ

今年も原水爆禁止子組員平和大行進に参加しました。

これまで、７月５日に、１日かけて、守口市役所から門真市役所寝屋川市役所を経由して枚方市役所まで行進していましたが、昨今の高温により、熱中症予防のため、今年から、行進は午前中のみとなり、７月３日は、守口市役所から門真市役所を経由して正午に寝屋川市役所到着。

４日、寝屋川市役所から枚方市役所まで行進しました。

寝屋川市役所前で行われた出発集会では、主催者あいさつに続き、市長と議長のメッセージが披露されました。

その後、ニューヨークで開かれたＮＰＴ再検討会議に参加された寝屋川市原爆被害者の会の山下しのぶさんから、ニューヨークでの取り組みやこれからも被爆の証言をしていきたいと話されました。

最後に、東京から広島まで歩かれる「通し行進者」お二人から訴えがありました。

ご家族が被爆者だという方が、核兵器廃絶を訴えて行進したいと決意を語られました。

寝屋川市役所を出発する行進団